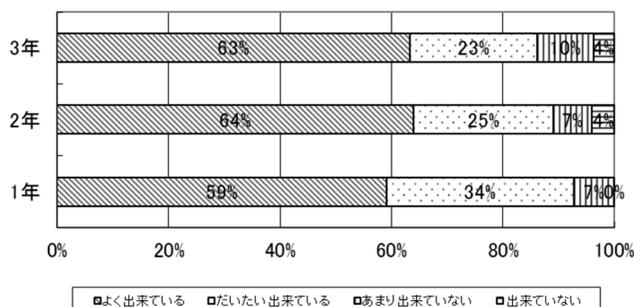




第1回 朝読アンケート結果（その1）

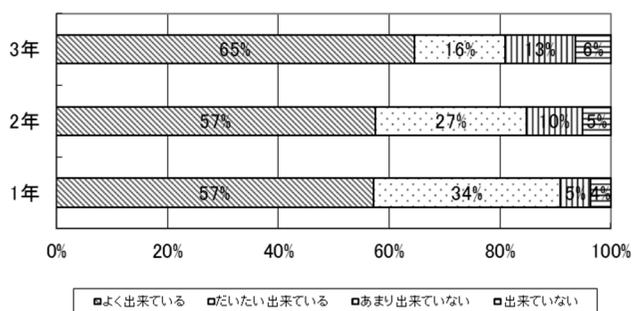
本校では、一日のスタートを落ち着いて臨むこと、言語活動の充実を図ることを目的に、朝の読書活動（朝読）を毎朝実施しています。たった10分の積み重ねを生徒のみなさんは、どのようにとらえているのでしょうか。今回は、活動状況についての4つの質問に対する回答を分析してみました。

1 開始時間は守れましたか



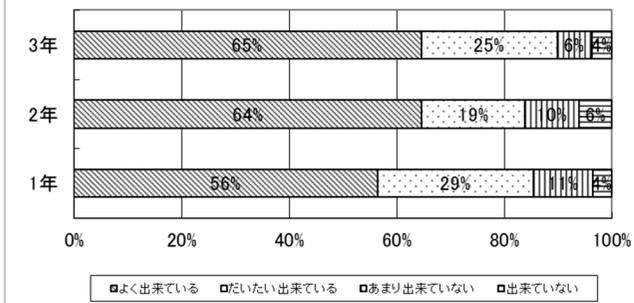
朝読をスムーズにスタートできている生徒が全生徒のうち約9割います。特に、1年生が朝のスタートをうまくできていると感じています。中学生になって、休業が続く、戸惑ったところもあったと思いますが、順調に対応できていることがとてもうれしいです。

2 読書の準備はできていましたか



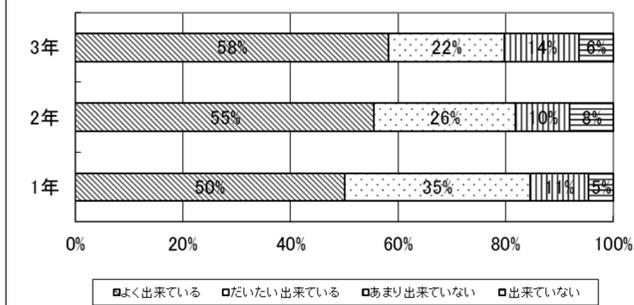
読書の準備については、「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせて、多くの生徒ができています。朝読は、「好きな本」を「ただ読むだけ」ですから、今後「出来ていない」「あまり出来ていない」人は「だいたい出来ている」ようになるといいですね。

3 集中して取り組みましたか



集中して取り組めたかについては、毎日の積み重ねが成果となって表れているのがわかります。実際の朝読の様子を廊下から見ていても、どのフロアにいても「しーん」と静かな空気に包まれ、落ち着いている様子で取り組んでいるのがわかります。

4 積極的に取り組みましたか



積極的に取り組んでいるかといった点については、「よく出来ている」の割合が、学年が上がるにしたがって増えており、ここには積み重ねの成果が見えます。「だいたい出来ている」に着目すると1・2年生の今後がとても楽しみです。

朝読については、①みんなでやる ②毎日やる ③好きな本でよい ④ただ読むだけ の4原則に基づいて行っています。その時間は、教員も生徒と一緒に読書に浸り、校内が静まり返った落ち着いた空気に包まれます。同じように静かなのですが、学年が上がるにしたがって集中によるしっとりとした空気が増していくのが不思議です。積み重ねによる成長が醸し出す雰囲気でしょうか。アンケート結果の分析については、ほかの見方もできると思います。「良い」「悪い」ではなく、学校の実態、様子を推し量ることができるものですので、みなさんなりの分析をしてみてください。次回は、朝読の効果についての分析をしてみます。